

令和6年7月の大雨被害を踏まえ、 災害時を想定したオンライン診療モデル事業を戸沢村で実施します

【集合時間・取材行程等】

- (1) 集合時間 令和8年7月23日(木) 14時00分 ※取材受付は13時30分から
 (2) 集合場所 有料老人ホームこはな
 (山形県最上郡戸沢村角川1436番地)
 (3) 取材行程・内容

時間	内容
13時45分	現地集合、担当者から撮影に関する説明
14時00分	(1) 関係者挨拶(新庄病院、戸沢村診療所、こはな)
14時10分	(2) オンライン診療訓練開始(診療シーン撮影)
14時30分	(3) オンライン服薬指導訓練開始(服薬指導シーン撮影)
14時45分	(4) 関係者インタビュー
	終了予定

- (4) 参加者 医師：山形県立新庄病院 院長 長瀬 輝顕(ながせ てるあき)
 戸沢村中央診療所 管理者 渡邊 孝弘(わたなべ たかひろ)
 薬剤師：ほし薬局 薬剤師 片桐 拓人(かたぎり たくと)
 施設側：有料老人ホームこはな 管理者 田中 祐馬(たなか ゆうま)、
 入居者1名、職員1名(患者役)

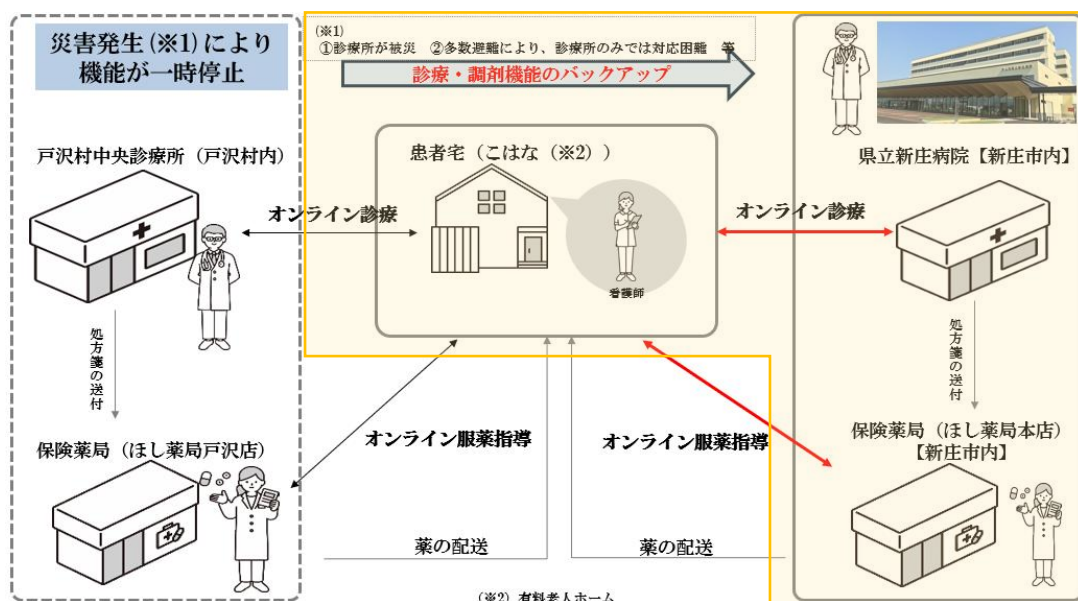
1 事業背景

- ・ オンライン診療は、情報通信技術の発展や地域の医療提供体制、医療ニーズの変化に伴い、近年需要が高まっており、特に交通の便が悪い山間地や離島、災害時において有効と考えられている。
- ・ 県内どこに住んでいても質の高い医療を享受できるようにする必要があるが、特に、へき地等では医師の確保が困難となってきたことや医師の派遣が負担となっていること、患者の交通アクセスの負担や災害等有事の対応が課題となっている。

2 事業経緯

- ・ 令和6年7月の大雨災害を踏まえ、医療機関の被災や患者の通院が困難な状況下においても医療提供を継続できる体制の構築が求められていることから、令和8年度は、前年度に引き続き診療所・保険薬局・避難所等を接続するオンライン診療モデル事業を実施するとともに、新たに災害拠点病院である新庄病院との連携を行い、災害時にバックアップできる体制を構築する。

3 災害時を想定したモデル事業のイメージ



4 期待される効果

平時からオンライン診療・服薬指導に習熟し、災害時にも速やかに対応できる体制整備を目指す。